

- ◆企画名 図書館広報誌 KULione vol.5 の誌面作成
日 程 平成 26 年 7 月 1 日 (火) ～9 月 30 日 (火)
場 所 関西大学千里山キャンパス構内、関西大学総合図書館
参加者数 3 名 (ピア・サポータ 2 名、研修生 1 名)
目 的

KU コアラの活動を多くの学生に知ってもらい、興味を持ってもらう。

内 容

- ・図書館広報誌 KULione vol.5 4 ページ目の上 2/3 に KU コアラの活動報告を掲載。
- ・今回の活動報告では、2014 年春学期に実施した「コアラ☆ミュージアム第 6 弾」および「今月の本」を紹介した。
- ・また、今回は併せて、図書館事務室作成誌面に撮影モデルとして参加した。

効 果

- ・KULione に KU コアラの活動紹介を載せ、KU コアラのメンバーをモデルに取り入れたことで、読者に KU コアラの存在を知ってもらうことができ、知名度が大幅に向上したと思われる。

改 善 点

- ・企画の提案から校正まで、全体のスケジュールが少々急であったため、余裕のあるスケジュールリングが望まれる。
- ・原稿作成での質問や校正段階での要望などで、メールでの意思疎通がうまくいかないことがあったため、相手に伝わりやすい表現を心がけるだけでなく、直接対面して話し合いをする機会を設けることが必要に思えた。
- ・KU コアラ原稿の校正が 1 回であったため、印刷前にもう一度チェックする機会が欲しい。
- ・KU コアラ側に発行日が伝わらなかったり、図書館事務室側に KU コアラ Facebook ページの存在が伝わっていなかったり、ということがあったため、報告・連絡・相談をきっちりするよう努めたい。

感 想

- ・本企画では、KU コアラと図書館事務室が、一団体と支援部署という関係を超え、双方が一つのチームとなって KULione 完成に向けて取り組むという点において、他の企画にはない特殊なものがあると感じた。
- ・また、本企画は図書館事務室の方と直接的な交流をする機会が多く（モデル撮影など）、特に研修生が企画進行について見て学ぶのに適した企画であるともいえる。
- ・何より KU コアラが過去の活動を見直し、直接学生に向けて広報する機会を得られるため、今後もぜひ続けていきたい。